

教材・支援機器活用実践事例（特別支援学校版）

実践年度・タイトル		平成（27）年度
		運動を通して自己理解を深める学習におけるICT機器の活用
授業について	教科名等 （該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。）	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導「セルフマネジメント」 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	単元・題材名	体育「サーキット運動」
	授業の目標	・体調や自分の体力に応じた運動強度を選択して目標を設定することができる。 ・自ら設定した目標の達成を目指して主体的に運動に取り組むことができる。 ・意識すべき筋肉や運動の行い方が分かり、正しく運動ができる。
	観点別学習状況の評価の観点 （教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。）	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他（ ）
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (2) 年 (7) 人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD（学習障害） <input checked="" type="checkbox"/> ADHD（注意欠陥/多動性障害） <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 （特性・ニーズ）	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input checked="" type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ○対象生徒及び学習グループには、比較的軽度の知的障がいと発達障がいを併せ有する生徒が多く、運動を行う習慣が身に付いていない生徒や自らの身体の動きに気づくことに困難を抱えている生徒がいる。 ○生徒の「新体力テスト」の結果を同年代の生徒と比較すると、全ての種目で平均を下回っている。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 （使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。）	【ハードウェア】 <input type="checkbox"/> タブレット端末（iPad） 【ソフトウェア】 <input type="checkbox"/> カメラ・ビデオ ・動画の録画及び再生の機能
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援（ <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援） B活動支援（ <input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input checked="" type="checkbox"/> B3時間支援） C学習支援（ <input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援） ○自らの運動や身体の動きを動画撮影することで、自らの身体の動きを客観的に確認する。 ・動画で記録する活動をおして、自らの身体の変化に関心を持てるようにする。 ○自らの動き（身体の動かし方）と他の生徒の動きの違いを互いにその場で確認することで、他者からの評価を即時に受けられるようにする。
授業に授業展開支援	授業展開と画像 （授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。）	○本時の学習内容の説明と今日の体調などの確認。 ・ラジオ体操とストレッチ【撮影：タブレット端末を使用①】 ○運動1「10分間ランニング」 ・3階と4階の廊下を使った周回走 ○運動2「サーキット運動」 ・前時の課題の確認と課題を踏まえた目標設定【再生：タブレット端末使用②】 ・腕や脚、体幹の筋力を向上させる運動を繰り返し行う。 【撮影：タブレット端末使用③】 「アザラシ（ずりはい）」、「しこ」、「手押し車」などの運動。 ※ 教師の手本となる運動の後に続いて行う。 ・撮影を希望する生徒を優先的に撮影し、自らの動きを確認・修正する。 【再生：タブレット端末使用④】 ○整理運動と本時の振り返り
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	○ICT機器が学習への興味関心を高めた ・当初は、自らの動きを撮影されることに抵抗感をもつ生徒もいたが、周りの生徒が動画を確認しながら動きを改善している様子を見ることで自分もやってみようという意識をもてるようになった。 ○視聴覚支援の有効性 ・生徒の多くは、教師が修正箇所を言葉で伝えた時に比べ、動画で確認させながら伝えた方が分かりやすかったとの感想をもった。 ・タブレット端末を活用し、手本となる教師の動きや自分の動きを運動直後に自らの目で比較できるようにしたことは、動きや姿勢のイメージと実際の動き違いや、改善点に気付けるようになった。 ○相互評価の有効性 ・他の生徒の動きについての改善点などを考えたことは、自分の動きを振り返ったり、アドバイスをしあう関係を構築する上で効果的であった。 ○教師による学習評価 ・動画で記録したことは、教師が後から生徒の運動の様子を確認し評価ができる。



iPad使用の様子